

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
周りの人によりよい関係を築くって？	4月 (2)	(内容項目を限定しない) <b>1 道徳が始まるよ</b>	道徳科で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考えさせながら、1年間の道徳科の学びの見通しをもたせ、意欲的に道徳科を学んでいこうとする実践意欲を育てる。	★道徳科とは、何をどのように学ぶ時間なのだろう。 ①教科書P4・5「道徳で学ぶ22のとびら」を見て、これまでの道徳科の学習を振り返りながら、道徳科ではどんなことを考えていくのか、改めて理解する。 ②教科書P6・7「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」を見て、話し合いをするときに大切な「こつ」について理解する。 ③「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」を使って、自分がどんなときに「それはいいね。」と思うかについて話し合う。 ④教科書P8・9「道徳 みちあんない」を見て、これから1年間の学びの見通しをもつ。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○道徳科で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考え、1年間の学びの見通しをもち、意欲的に学んでいこうとすることについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 5年生のときの道徳科の学習を思い起こしながら、これからの道徳科の学習を想起し、期待を膨らませている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 道徳科の学習では、自分で考えるだけでなく、みんなで話し合うことで考えが広がったり深まったりすることを感じている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 何を学ぶか、どのように学ぶかを理解し、1年間の学びの見通しをもって、道徳科を学んでいこうとしている。	
	4月 (3)	【個性を知って】 A (4) 個性の伸長 <b>2 めくもり</b>	友達の言葉から自分の長所に気づき、それを生かそうとする小春の姿などを通して、長所を知ることの大切さを考えさせ、自分自身の特徴を知り、長所を伸ばして自己を高めようとする心情を育てる。	★自分のいいところを知ることは、なぜ大切なのだろう。 ①はじめに「読むときには」「話し合ったり、書いたりするときには」を読んで、それぞれの留意点を確認する。P11-14の吹き出しは、教材を読みながら確認していくことを伝える。 ②「めくもり」を読み、今まで係を決めるときに、小春はどうして手を上げることができなかったのかを考え、発表する。 ③小春はどんな思いで手を挙げたのかを考え、発表する。 ④自分の特徴に気づくことは、どうして大切なのかを考え、話し合う。 ▼自分のいいところを自分で考えたり友達にきいたりして、ノートに書き出す。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○自分自身の特徴を知り、長所を伸ばして自己を高めようとすることの大切さについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分は、自分のよいところに気づいているかと、自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分をさまざまな角度から見つめて、自分の特徴に気づくことのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の長所を見つめて伸ばすことの大切さを踏まえ、自分の長所を自分なりに伸ばすにはどうすればよいかと考えている。	特別活動(学級活動) 図書館活用
	4月 (4)	【未来に向かって】 D (22) よりよく生きる喜び <b>3 まどさんからの手紙 ——こどもたちへ</b>	「まどさんからの手紙」が何を伝えているのかを考えさせ、人間としての自分のよさや可能性を信じ、さまざまなことに挑戦してよりよい生き方をしようとする実践意欲を育てる。	★まどさんからの手紙は、あなたに何を伝えているだろう。 ①どんな大人になりたいか考え、出し合う。 ②「まどさんからの手紙——こどもたちへ」を読み、「りっぱな おとな」とはどんな人か考え、発表する。 ③小学生はどうして「たった 一かいきりの すばらしい『とき』『すごい』『とき』」なのかを考え、話し合う。 ④まどさんからの手紙を読んで、がんばりたいな、挑戦してみたいな、楽しみたいなと思った気持ちを、誰かへの手紙として書き、発表する。 ▼最高学年として、どんなことをがんばりたいか考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○自分のよさや可能性を信じ、さまざまなことに挑戦して、よりよい生き方をすることについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 まどさんの伝えたいことを、自分との関わりで考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 よりよく生きることについて、周りの人々の願い、世界との関わり、今しかできないことなど、さまざまな観点から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これからがんばりたいこと、挑戦したいことについて考えている。	国語科 図書館活用 共生

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
周りの人とよりよい関係を築くって?	5月 (2)	【目標に向かって】 A (5) 希望と勇気、努力と強い意志  4 大きな目標をもって——西山麗	大きな目標を立て、実現を目指して地道な努力を続ける西山麗さんの姿などを通して、物事に挑戦するときに支えとなるものは何かを考えさせ、目標に向かってくじけずに努力し、実現しようとする心情を育てる。	★物事に挑戦するとき、自分を支えてくれるものは、何だろう。 ①目標をもって何かに挑戦した経験を振り返り、出し合う。 ②「大きな目標をもって——西山麗」を読み、齋藤さんの言葉は西山さんに何を与えてくれたかを考え、出し合う。 ③これまで西山さんを支えてきたのはどんな思いかを考え、話し合う。 ④西山さんの生き方からどんなことを学んだかを考え、発表する。 ▼挑戦し続けた人たち(ヘレン=ケラー、松下幸之助、松井秀喜、浅田真央)の本を読む。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○目標に向かってくじけずに努力し、実現しようとする心の大切さについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまで、自分で立てた目標の達成を目指して、くじけずに努力してきたかと、自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 物事に挑戦するときに自分を支えてくれるものには、自分自身の強い意志だけでなく、他者との関係など、さまざまなことがあることに考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 西山さんの生き方から学んだことを、自分のこれからの生活に生かそうとしている。	体育科 図書館活用 キャリア教育
	5月 (3)	【生活を見直す】 A (3) 節度、節制  5 なれなかったリレーの選手	ゲームのしすぎで寝不足が続く、リレーの選手になれなかった「ぼく」の姿などを通して、後悔しないよう日頃から大切にすべきことを考えさせ、節度を守り節制に心がけようとする実践意欲を育てる。	★後悔しないために、日ごろから大切にしなければならないのは、どんなことだろう。 ①いけないとわかっているのに、つい何かをやりすぎてしまった経験を振り返り、出し合う。 ②「なれなかったリレーの選手」を読み、早く寝なくてはと思っていたのに、「ぼく」はどうしてゲームがやめられなかったのかを想像し、出し合う。 ③椅子に座ったまま、「ぼく」はどんなことを思っていたかを考え、話し合う。 ④自分の生活で見直したいのはどんなところかを考え、発表する。 ▼教科書 P204 の「学びの道具箱」(フィッシュボーン)を適宜、活用する。 ▼安全について、どんなことに気をつけているかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○節度を守り節制に心がけようとする大切さについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまで、ついやり過ぎてしまったことはないかと、自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の意見を聞いて、「ぼく」の後悔について、さまざまな視点で考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分自身の生活で見直したいことについて考えている。	体育科 特別活動(学校行事) 健康教育
	5月 (4)	【自分の役割を果たす】 C (16) よりよい学校生活、 集団生活の充実  6 子ども会のキャンプ	子ども会のキャンプで、班長として努力する明葉の姿などを通して、役割を果たすために大切なことを考えさせ、自分の役割を自覚し、責任をもって果たそうとする判断力を育てる。	★自分の役割を果たすためには、どんな考えが大切なのだろう。 ①最高学年として自分が果たしている役割には、どんなものがあるかを考え、出し合う。 ②「子ども会のキャンプ」を読み、みんなに詰め寄られたとき、明葉はどんな気持ちだったかを考え、発表する。 ③このキャンプは、なぜ明葉の心に残る思い出となったのかを考え、話し合う。 ④役割を果たすためにはどんな考えが大切かを話し合う。 ▼最高学年として、さまざまな役割を任されるようになって、本時で学んだことは、どんなときに生かせるかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○集団における自分の役割を自覚し、責任を果たすことの大切さについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分自身の役割について、これまでどのように責任をもって取り組んできたかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の意見を聞いて、明葉が、心に残るキャンプと思えた理由を、さまざまな観点で考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 集団での自分の役割を自覚し、それを果たすために、どんなことを大切にしていこうかと考えている。	社会参画に関する教育
	適宜	★心を通わそう★ 相手の気持ちを考えて言葉をかけよう B (7) 親切、思いやり/B (11) 相互理解、寛容 年間を通して、適宜、「相手の気持ちを考えて言葉をかけよう」を読み、温かい言葉をかけ合う活動を通して、思いやりをもって友達のことを理解しようとする意識をもつ。				

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
周りの人とよりよい関係を築くって？	6月 (1)	いじめを許さない心  【だれにでも公正・公平な心で】 C(13) 公正、公平、社会正義  7 泣き虫	友達に泣きながら「ひきょう者！」と訴える勇気の姿などを通して、誰にでも公正で公平な態度を取るために必要な気持ちを考えさせ、身近な差別や偏見に向き合い、強い意志をもって、正義の実現に努めようとする心情を育てる。	▼友達とよりよい関係を築くにはどうすればいいかについて、「泣き虫」と「この胸の痛みを」を通して考えることを確認する。 ★だれにでも公正で公平な態度でいるために必要なのは、どんな気持ちだろう。 ① 公正、公平に人と接することができなかった経験を思い起こす。 ② 「泣き虫」を読み、勇気に「みんな、みんな、ひきょう者だ！」と言われたとき、「私」はどんなことを思っていたかを想像し、話し合う。 ③ クラス全体が生まれ変わったみたいになったのは、みんながどんなことを思っていたからかを考え、話し合う。 ▼「この胸の痛みを」を学んだ後、P52・53のコラム『隣の人』として寄りそう」を読み、友達とのよりよい関係づくりについて、さらに考えを深める。 ④ 巻末「学びの記録」に記入する。	○身近な差別や偏見に向き合い、強い意志をもって正義の実現に努めようとする思いについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまで誰に対しても公正、公平であったかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 公正、公平な態度を取れなくなってしまうことや、公正、公平な態度を貫くことの難しさや大切さなどについて、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 誰もが気持ちよく生活できるよう公正、公平な態度でいるために、どんな心を大切にしていこうかと考えている。	図書館活用 いじめ問題 共生
	6月 (2)	【広い心で】 B(11) 相互理解、寛容  8 この胸の痛みを	無視した相手の寂しそうな様子を目にして胸を痛める「私」の姿などを通して、「広い心」とはどんな心かについて考えさせ、自分について謙虚に振り返り、よりよい関係を築こうとする心情を育てる。	★「広い心」とは、どんな心だろう。 ① 相手を「許せない。」とってしまった経験を振り返る。 ② 「この胸の痛みを」を読み、朝実から「由希を無視しようよ。」と言われたとき、「私」はどんなことを考えたのかを考え、発表する。 ③ 「私」の胸が痛むのは、どんな思いがあるからかを考え、話し合う。 ④ この後、「私」が由希に話しかけるとしたら、二人はどんな話をすると思うかを演じて考え、話し合う。 ▼教科書P51の「考えるヒント」(演じて考えよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ▼「広い心」はなぜ必要なのか、また、「広い心」がないとどうなってしまうかを考える。 ⑤ 巻末「学びの記録」に記入する。	○自分について謙虚に振り返り、相手とよりよい関係を築こうとすることについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 簡単に許すことのできない思いを、「私」に自我関与して考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自らを謙虚に振り返り、広い心で寛容に振る舞おうとする思いについて、友達の意見をもとにしながらさまざまな面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 広い心で相手に接し、相手の立場や気持ちを理解することの難しさを意識したうえで、広い心をもって人と接するためにはどうすればよいかと考えている。	いじめ問題 共生
	適宜	★コラム★ 〈いじめを許さない心〉 「隣の人」として寄りそう B(10) 友情、信頼/B(11) 相互理解、寛容/C(13) 公正、公平、社会正義				特別活動(学級活動) いじめ問題 共生
	6月 (3)	【真の友情とは】 B(10) 友情、信頼  9 ロレンゾの友達	警察に追われているというロレンゾの迎え方を巡る三人の考えの違いなどを通して、真の友情とはどのようなものかを考えさせ、互いに信頼し、高め合う真の友情を築こうとする判断力を育てる。	★真の友情とは、どのようなものだろう。 ① 友達だったら、どんなことがあっても信じられるかを考え、発表する。 ② 「ロレンゾの友達」を読み、アンドレ、サバイユ、ニコライに共通する、ロレンゾに対する思いとはどんなものかを考え、発表する。 ③ アンドレ、サバイユ、ニコライの3人は、どうして、かしの木の下で話し合ったことをロレンゾに言わなかったのかを考え、話し合う。 ④ 真の友情とはどのようなものかを考え、話し合う。 ▼友達とのきずなについて考えることのできる本を読む。 ⑤ 巻末「学びの記録」に記入する。	○互いに信頼し、高め合う真の友情とはどんなものかについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまでの自分と友達との関係について振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 真の友情を育もうとする際の、葛藤や悩みについてさまざまな角度から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 信頼し合える友情を築いていくために、これからどんなことを大切にしていこうかと考えている。	図書館活用 法教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
周りの人とよりよい関係を築くって?	6月 (4)	【相手を思いやって】 B (7) 親切、思いやり  10 今度は、ぼくの番	病気と闘う木原先生のためにできることを考える「ぼく」の姿などを通して、相手を思う心はどのような行動で示せるかを考えさせ、相手の状況や気持ちを考え、思いやりをもとうとする心情を育てる。	★相手を思う心は、どのような行動で表せるだろう。 ①自分が最近取った思いやりのある行動を振り返り、出し合う。 ②「今度は、ぼくの番」を読み、「ぼく」の胸はどうしてドキドキと音を立てたのかを考え、発表する。 ③「今度は、ぼくの番です。」と言ったとき、「ぼく」はどんなことを思っていたかを考え、話し合う。 ④「思いやり」とはどんなものかを考え、話し合う。 ▼教科書 P205 の「学びの道具箱」(インタビュー対話)を適宜、活用する。 ▼人の思いやりや親切が描かれている本を読む。 ⑤ 巻末「学びの記録」に記入する。	○相手の状況や気持ちを考え、思いやりをもつことの大切さについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまで自分は、誰かにに対してどんな思いやりの心をもってきたかと考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 思いやりの気持ちを受けたり、思いやりの気持ちをもって親切にしたりすることについて、さまざまな視点から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 相手の立場に立って親切にするとはどういうことなのかを考え、これからの生活に生かそうとしている。	国語科 図書館活用
	7月 (1)	自然と共に  【自然を大切に】 D (20) 自然愛護  11 クジラとプラスチック	プラスチックごみで作られたクジラの写真や説明などを通して、自然を大切にすることはどういうことかを考えさせ、人間と自然の関わりに関心を持ち、自然を大切にしようとする実践意欲を育てる。	▼自然と共に生きていくために考えるべきことについて、「クジラとプラスチック」と「命の旅」を通して考えることを確認する。 ★自然を大切にすることは、どういうことだろう。 ①自分の身の回りにどんなプラスチック製品があるかを考え、出し合う。 ② P66・67 のクジラの作品の写真を見て感じたことを発表する。 ③クジラの作品を作った人たちは、どんなことを考えながらこのクジラを作ったのかを想像し、話し合う。 ④自然を大切にするためにできることを考え、出し合う。 ▼プラスチックごみが自然に与える影響にはどんなものがあるか、調べてみる。 ⑤ 巻末「学びの記録」に記入する。	○人間と自然との関わりに関心を持ち、自然を大切にすることを自分事として考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分でできる範囲で自然環境を大切にしているかという視点で、自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自然環境を保全することの大切さについて、動植物の側からだけでなく、自然の中で生かされている人間の側からも考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自然環境を守るために、自分でできる範囲でどんなことができるかと考えている。	社会科 理科 総合的な学習の時間 共生 環境教育 社会参画に関する教育
	7月 (2)	【命をつなぐ】 D (19) 生命の尊さ  12 命の旅	知床の動物たちの生きるための営みなどを通して、「命の旅」の意味について考えさせ、多くの生命のつながりの中にあるかけがえのない命を実感し、生命を尊重しようとする心情を育てる。	★「命の旅」とは、どんなことを表しているのだろう。 ①「命の旅」とは、どんな意味だと思うかを出し合う。 ②「命の旅」を読み、いちばん心に残ったのは、どんなところか、また、それはどうしてかを考え、出し合う。 ③「ありがとう。いただきます。」には、どんな思いが込められているかを考え、発表する。 ④「命の旅」とは、どんなものかを考え、話し合う。 ▼教科書 P76・77 のコラム「よりよい世界をみざして」を読んで、自分たちと自然との関わりについて、さらに考えを深める。 ⑤ 巻末「学びの記録」に記入する。	○かけがえのない命のつながりを実感し、命を大切にしようとするについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 生命のつながりについて、自分との関わりで考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分と生きとし生けるものとの生命のつながりについて、さまざまな観点で考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 生命は、多くの生命のつながりの中に存在していることを忘れず、かけがえのない命を大切にしていこうと考えている。	社会科 理科 共生 環境教育
	適宜	★コラム★ 〈自然と共に〉 よりよい世界をみざして D (19) 生命の尊さ／D (20) 自然愛護				

月(週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
<p>○「学習のまとめり」を振り返った評価(4~7月)</p> <p>ここまで学んだ、【A(4)個性の伸長】【D(22)よりよく生きる喜び】【A(5)希望と勇気、努力と強い意志】【A(3)節度、節制】【C(16)よりよい学校生活、集団生活の充実】【C(13)公正、公平、社会正義】【B(11)相互理解、寛容】【B(10)友情、信頼】【B(7)親切、思いやり】【D(20)自然愛護】【D(19)生命の尊さ】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。「学びの記録」にある児童の書き込みや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。</p>					
広い視野で人や社会と関わるって？	適宜	★「考える」準備たいそう★ 話し合いながら考えを深めていくことが上手になるように、教科書P79の「進め方」に即して、テーマを決めて話し合い、これからの学習に生かす。			
	適宜	★学びのじゅんぴ★ 「世界人権宣言」を読んでみよう C(12)規則の尊重 次の「世界人権宣言から学ぼう」の学習の準備として、教科書P82~84の「世界人権宣言」の条文を読み、読んだ中で自分がいいなと思った条文をノートなどに書き出しておく。			
	9月(1)	【大切な権利】 C(12)規則の尊重  13 世界人権宣言から学ぼう	「世界人権宣言」が作られた背景や、条文が表す意味を学ぶ活動などを通して、人権に関する考えを深め、自他の権利を尊重し、それを自分の生き方とつなげ、よりよい社会にしようとする実践意欲を育てる。  ★世界人権宣言から学ぼう。 ①「人権」とは、どういう意味かを考え、出し合う。 ②「世界人権宣言から学ぼう」を読み、いいなと思った世界人権宣言の条文はどれか、また、どんなところがいいなと思ったかを発表する。 ▼「考えるヒント」(こんな活動で考えることもできるよ)を適宜、活用する。 ③人権が守られることにはどんなよさがあるかを考え、話し合う。 ▼自分たちのクラスで特に大事にしたい条文はどれか、みんなで考える。 ④巻末「学びの記録」に記入する。	○自他の権利を尊重し、それを自分の生き方とつなげ、よりよい社会をつくることについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 人権について、自分との関わりで考えを深めている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 さまざまな立場から「権利」を捉えることで、権利が守られることの大切さについて、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 人権が守られることのよさに触れたうえで、自他の権利を尊重するために、どんなことを大切にしていこうかと考えている。	社会科 共生 社会参画に関する教育 法教育
	9月(2)	情報と向き合う  【責任を自覚して】 A(1)善悪の判断、自律、自由と責任  14 気に入らなかった写真	みんなで撮った写真をインターネット上に投稿し、友達から削除を求められて悩む「お姉さん」の姿などを通して、責任ある行動について考えさせ、よく考えて自律的に判断し、責任ある行動を取ろうとする判断力を育てる。  ▼情報との向き合い方について、「気に入らなかった写真」を通して考えることを確認する。 ★責任ある行動について考えよう。 ①スマートフォンや通信機能付きゲーム機を使ったことがあるかを確認する。 ②「気に入らなかった写真」を読み、お姉さんはどんな考えで写真を投稿したのかを想像し、出し合う。 ③写真を投稿する前に、お姉さんはどんなことを考えなければならなかったのかを想像し、話し合う。 ④インターネットを利用するときに考えなければいけない責任とはどんなことかを考え、発表する。 ▼教科書P92・93のコラム「インターネット上の権利」を読み、情報の扱い方について考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○よく考えて自律的に判断し、責任ある行動を取ることの大切さについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 どう行動すればよいかを迷う場面で、自分は自分の責任をどのように考えてきたかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 されて嫌だと感じることは人それぞれであることや、インターネットを利用するときには、人のさまざまな権利に配慮することについて考えを深めている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 どんなときにも責任ある行動を取るために、どんなことを心がけていこうかと考えている。	情報モラル
適宜	★コラム★ 〈情報と向き合う〉 インターネット上の権利 A(1)善悪の判断、自律、自由と責任/C(12)規則の尊重			情報モラル	

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
広い視野で人や社会と関わるって？	9月 (3)	【自分の心に誠実に】 A (2) 正直、誠実  15 手品師	大舞台での活躍と子どもと交わした約束との間で心が揺れる手品師の姿などを通して、「誠実に生きる」とはということかを考えさせ、自分自身に誠実に生き、明るい心で過ごそうとする心情を育てる。	★「誠実に生きる」とは、ということだろう。 ①誰かと約束をしたのに守れなかったことがあるかを振り返り、出し合う。 ②「手品師」を読み、友人の「いい話」を聞きながら、手品師はどんなことを思っていたかを考え、発表する。 ③手品師は、どんな思いでたった一人のお客様の前で手品を演じたのかを考え、話し合う。 ④「誠実に生きる」とはどんな生き方のことだと思うかを発表する。 ▼人々から誠実さがなくなると、世の中はどうなるかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○自分自身に誠実に生き、明るい心で過ごそうとすることのよさについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段、誠実に行動しているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物の姿や友達の考えをもとに、自分に誠実であるとはということかについて、自分の見方を広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 「誠実に生きる」とはということかを考え、その難しさも受け止めて、自分のこれからの生き方について考えている。	
	9月 (4)	【理解し合うために】 B (11) 相互理解、寛容  16 昼休みのコートで	コートの使用を巡って思いが擦れ違う洋と光太の姿などを通して、相手と理解し合うために大切な気持ちを考えさせ、相手の立場や気持ちを考え、互いに尊重し合ってよりよい関係を築こうとする心情を育てる。	★相手と分かり合うためには、どんな気持ちが必要なのだろう。 ①誰かと分かり合えなくて悲しい気持ちになったことはないかを振り返る。 ②「昼休みのコートで」を読み、お互いに口を利かずにいたとき、洋と光太はそれぞれどんな気持ちだったかを考え、出し合う。 ③洋は、どんな思いから、光太に「なんで一人で練習しているのか、聞かせてくれよ。」と言ったのかを演じて考え、話し合う。 ▼教科書P51の「考えるヒント」(演じて考えよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ④自分と違った考えに出会ったときに大切なことは何かを考え、話し合う。 ▼「この胸の痛みを」と本時で学んだことをつなげて考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○互いに尊重し合って、よりよい関係を築こうとすることの大切さについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分は相手の気持ちを理解しながら関わっているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 互いに理解し合うためには、自分の考えを伝えるとともに、広い心で異なる意見や立場を尊重することが大切だと考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の考えを伝えること、相手の立場に立って考えることを意識しながら、よりよい人間関係を築いていこうと考えている。	いじめ問題 共生
	10月 (1)	【友達とは】 B (10) 友情、信頼  17 コスモスの花	みんなから称賛される北山を快く思えないまま、彼に対するクラスメートの意地悪な声を思わず止める「ぼく」の姿などを通して、友達とはどんな存在なのかを考えさせ、互いのよさを認め合い、よりよい関係を築こうとする心情を育てる。	★友達とは、どんな存在なのだろう。 ①自分にとって、友達とはどんな人のことかを考え、出し合う。 ②「コスモスの花」を読み、「ぼく」が北山に初めて抱いた「北山なんて——。」という気持ちには、どんな思いが籠もっていたかを考え、発表する。 ▼「考えるヒント」(こんな活動で考えることもできるよ)を適宜、活用する。 ③「ぼく」がどうして「やめろよ——。」と言ったのかを考え、話し合う。 ④友達とはどんな存在なのかを考え、話し合う。 ▼「ロレンゾの友達」と本時で学んだことをつなげて考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○互いのよさを認め合い、よりよい関係を築くことの大切さについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分にとって友達とはどのような存在だと考えてきたか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 仲のよい友達に対しても複雑な思いを抱いてしまうことがあることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 友達とはどのような存在なのかについて自分なりの考えをもち、友達とよりよい関係を築くにはどうすればよいかと考えている。	図書館活用 いじめ問題

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
広い視野で人や社会と関わるって?	10月 (2)	【よりよい学校をめぐって】 C(16)よりよい学校生活、 集団生活の充実  <b>18 六年生の責任って?</b>	6年生として何ができるのかを悩む「ぼく」の姿などを通して、6年生の責任を果たすために、どう考え、判断すればよいかを考えさせ、役割を自覚し、協力して学校生活を充実させようとする判断力を育てる。	★六年生の責任を果たすために、あなたはどうか考え、判断すればよいのだろうか。 ①六年生として、下級生や先生から頼りにされていると思うのはどんなときかを振り返り、出し合う。 ②「六年生の責任って?」を読み、自分が「ぼく」のクラスの一員だったらどうすればよいかを、教科書 P114・115のステップに沿って考える。 ③各自が考えたことを出し合い、六年生にも下級生にも望ましい状態にするためにはどうすればよいかを考え、話し合う。 ④六年生の責任を果たすために大切なのはどんな考えかを話し合う。 ▼先生や上級生のおかげで気持ちよく生活できていたと思うことがあるかを思い起こし、よりよい学校をめぐって自分にどんなことができるかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○6年生としての役割を自覚し、協力して学校生活を充実させようとするについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 最高学年としての自覚をもって行動しているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物の姿や友達の意見をもとに、役割や責任を果たすことについて、さまざまな考え方があることを知り、自分の見方を広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 6年生として、これからの学校をよりよくしていくために、自分にどんなことができるかを考えている。	特別活動(学級活動、 児童会活動) 共生 社会参画に関する教育
	適宜	★なんだろう なんだろう★ 「自分」って、なんだろう。 関連する内容項目 A(4)個性の伸長 A(1)善悪の判断、自律、自由と責任/D(22)よりよく生きる喜び 家庭学習や朝の読書活動の時間などを活用して、「なんだろう なんだろう」を読み、「自分」とは何なのか、考えてみる。				
○「前期」を振り返った評価(4~10月2週目)						
ここまでに学んだ、【A(4)個性の伸長】【D(22)よりよく生きる喜び】【A(5)希望と勇気、努力と強い意志】【A(3)節度、節制】【C(16)よりよい学校生活、集団生活の充実】【C(13)公正、公平、社会正義】【B(11)相互理解、寛容】【B(10)友情、信頼】【B(7)親切、思いやり】【D(20)自然愛護】【D(19)生命の尊さ】【C(12)規則の尊重】【A(1)善悪の判断、自律、自由と責任】【A(2)正直、誠実】【B(11)相互理解、寛容】【B(10)友情、信頼】【C(16)よりよい学校生活、集団生活の充実】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」にある児童の書き込みや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						
	10月 (3)	【法やきまりを守って】 C(12)規則の尊重  <b>19 ここを走れば</b>	祖父の危篤の知らせを受けても路側帯を走らずに規則を守る父親を見つめる「ぼく」の姿などを通して、法やきまりを支えるのは、人々のどんな考えかを話し合わせ、法やきまりの意義を理解し、進んで守ろうとする心情を育てる。	★法やきまりを支えているのは、人々のどんな考えだろう。 ①きまりを破ってしまいそうなときはどんなときかを思い起こし、出し合う。 ②「ここを走れば」を読み、父が路側帯を走らなかったとき、「ぼく」はどう思ったかを考え、出し合う。 ③父の涙を見ながら、「ぼく」はどんなことを考えていたかを想像し、発表する。 ④法やきまりは、人々のどんな考えによって支えられているのかを考え、話し合う。 ▼どんなときに人はきまりを守れなくなってしまうのかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○法やきまりの意義を理解し、進んで守ろうとすることについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分勝手な理由をつけてきまりを守らないことはないかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞き、きまりの意義や、それを支える人々の意識について、さまざまな側面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これからの自分の生き方と関わらせながら、法やきまりの意義を理解したうえで、きまりを守ることの難しさや大切さについて考えている。	社会参画に関する教育 法教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
広い視野で人や社会と関わるって?	10月 (4)	【礼儀とは】 B (9) 礼儀  <b>20 礼儀正しいふるまい</b>	二つの出来事から礼儀について考える陸の姿などを通して、礼儀正しい振る舞いについて考えさせ、時と場に応じ、相手の立場や気持ちを考え、心を込めて接していこうとする実践意欲を育てる。	★礼儀正しいふるまいについて、考えよう。 ①「礼儀正しい人」とは、どんな人のことかを考え、出し合う。 ②「①」の出来事を読み、「礼儀」について考えた陸は、自分ならどのように挨拶すると思ったかを演じて考え、話し合う。 ▼教科書P51の「考えるヒント」(演じて考えよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ③「②」の出来事を読み、陸は航大のどんなところを「かっこよかったな。」と感じたのかを考え、発表する。 ④礼儀正しい振る舞いとはどんなものかを考え、話し合う。 ▼礼儀正しい振る舞いができるとできないのでは、日々の生活にどんな違いが生まれるかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○時と場に応じ、相手の立場や気持ちを考え、心を込めて接することについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 「礼儀正しさ」について、自分はどんな考えをもっているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 礼儀正しく振る舞う姿は一つではなく、時と場、相手に応じた振る舞い方が多様にあることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 時と場をわきまえた礼儀正しい言動をするためには、どんな考えを大切にしていこうかと考えている。	特別活動(学校行事) 社会参画に関する教育
	11月 (1)	【感謝の心を伝えるために】 B (8) 感謝  <b>21 五十五年目の恩返し</b>	ユダヤ人やその子孫たちが、55年も昔に命を助けられたことを忘れず、恩返しをした話に感動する「まこと」の姿などを通して、感謝の心とはどのようなものかを考えさせ、人々の支えに感謝し、その恩に応えようとする実践意欲を育てる。	★感謝の心とは、どういうものだろう。 ①阪神・淡路大震災について、知っていることがあるかを確認する。 ②「五十五年目の恩返し」を読み、ユダヤ人たちはどのような思いから神戸への援助を申し出たのかを考え、発表する。 ③まことは、ユダヤ人たちの感謝の気持ちを知り、どんなことを思ったかを想像し、話し合う。 ▼社会科で第二次世界大戦について学習したことを思い出す。 ④巻末「学びの記録」に記入する。	○人々の支えに感謝し、その思いに応えようとするについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 日々の生活の中で、自分を支えてくれる人にどんな気持ちを抱いているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞き、人と人との間にある善意に対する感謝の在り方について、さまざまな側面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 多くの人の支えがあって今の自分があることを踏まえ、自分は他者からの善意にどう応えたらよいかを考えている。	社会科 共生 国際理解教育
	11月 (2)	【その人のために】 B (7) 親切、思いやり  <b>22 最後のおくり物</b>	俳優をみざす貧しいロベータと、ロベータに密かにお金を届け続けるジョルジュじいさんとの交流などを通して、心からの思いやりや親切とはどんなものかを考えさせ、相手の立場に立った深い思いやりの心を大切にしようとする心情を育てる。	★心からの思いやりや親切とは、どんなものなのだろう。 ①これまでに、どんなときに人の思いやりを感じたかを振り返り、出し合う。 ②「最後のおくり物」を読み、「せっかくここまで来たのに——。」とくちびるをかんたとき、ロベータはどんなことを思っていたかを考え、発表する。 ③ロベータがジョルジュじいさんからもらった「最後のおくり物」とは、どんなものかを考え、話し合う。 ④ジョルジュじいさんからの最後の手紙を読んで、ロベータはどんなことを決意したかを考え、発表する。 ▼「10 今度は、ぼくの番」と本時で学んだことをつなげて考える。 ▼「考えるヒント」(道徳で使う言葉)を読み、発表や話し合いの場面で活用する。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○相手の立場に立った深い思いやりの心の大切さについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 人からの思いやりや親切について、自分はどのような考えをもっていたかを見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞き、相手の立場に立った思いやりの在り方について、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 相手のためになるような思いやりについて自分なりの考えをもち、自分にはどんなことができるかを考えている。	キャリア教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
広い視野で人や社会と関わるって？	11月 (3)	【心の美しさ】 D (21) 感動、畏敬の念  <b>2 3 マザー = テレサ</b>	「死を待つ人の家」を始め、最貧の人々に慈愛の手を差し伸べ続けたマザー = テレサの生き方などを通して、そこから何をを感じるかを考えさせ、人間の心の崇高さに感動する心を大切にしようとする心情を育てる。	★マザー = テレサの生き方から、私たちは、何を感じるだろう。 ① マザー = テレサについて、知っていることがあるかを確認する。 ② 「マザー = テレサ」を読み、マザー = テレサは、なぜ死にゆく人々の手を握り続けたのかを考え、発表する。 ③ マザー = テレサの生き方を知って、どんなところに心を動かされたかを出し合い、話し合う。 ▼ 誰かの話を聞いたり本を読んだりして心を動かされたときは、その思いをノートに書き留めておく。 ④ 巻末「学びの記録」に記入する。	○人間の心の崇高さに感動する心を大切にすることについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 人間のもつ心の崇高さや偉大さに対して、どんな思いをもっているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞き、人が心を動かされる対象や観点はさまざまであることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 人間の心の崇高さや偉大さに対して、心が揺さぶられることのすばらしさを意識したうえで、感動する心を大切にしていこうとしている。	社会科 共生 社会参画に関する教育 福祉に関する教育
	11月 (4)	【共に生きる】 D (19) 生命の尊さ  <b>2 4 命のかがやき</b>	静香さんの成長を喜び、共に生きることのすばらしさを語る父親の姿などを通して、命について考えさせ、人とのつながりの中にあるかけがえのない命を大切に、精いっぱい生きようとする心情を育てる。	★命について考えよう。 ① 命の輝きとはどんなものかを考える。 ② 「命のかがやき」を読み、どんな命の輝きを感じたかを出し合う。 ③ 出し合ったことを心に置きながら、命の輝きとはどういうものかを考え、話し合う。 ▼ これからも命の輝きを見つけていく。 ④ 巻末「学びの記録」に記入する。	○人とのつながりの中にあるかけがえのない命を大切に、精いっぱい生きることについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の命を見つめる中で、さまざまな人々のつながりや支え合いの中で命が育まれていることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 これまでの学習を考え合わせながら、生命のかけがえのなさについて、さまざまな面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分や他者の命のかけがえのなさを自覚し、尊重していこうと考えている。	共生
	適宜	★感じよう いのち★ D (18) 生命の尊さ 自分の体で「生命力」を表現してみよう！	「生命力」を表現してみよう！			
	12月 (1)	【やりとげるために】 A (5) 希望と勇気、努力と強い意志  <b>2 5 小川笙船</b>	貧しい病人の治療に明け暮れ、医者の育成に力を注ぐ小川笙船の姿などを通して、自分の決めたことをやり遂げるために大切な心について考えさせ、目標に向かって努力しようとする心情を育てる。	★自分の決めたことをやりとげるために大切なのは、どんな心だろう。 ① 何かをやり遂げるのにいちばん必要なのは、どんな心か考え、出し合う。 ② 「小川笙船」を読み、笙船は何百人もの患者であふれ返る養生所を、どんな思いで取り仕切っていたかを想像し、発表する。 ③ 養生所にみんなの笑顔と拍手の音が広がったとき、笙船はどんなことを思っていたか考え、発表する。 ④ 何かをやり遂げるために大切なのはどんな心か考え、話し合う。 ▼ 「大きな目標をもって——西山 麗」と本時で学んだことをつなげて考える。 ⑤ 巻末「学びの記録」に記入する。	○目標に向かって努力しようとする大切さについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 夢や目標に向かって努力をしているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞き、小川笙船の生き方や信念について、多様な感じ方があることを知り、自分の考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 強い意志をもって何かをやり遂げるためにはどんなことが必要かを考え、これからの自分の生き方に生かそうとしている。	キャリア教育 福祉に関する教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり	
広い視野で人や社会と関わるって?	12月 (2)	共に生きる  【他国の人々と支え合いながら】 C (18) 国際理解、国際親善  <b>26 エルトゥールル号——友好の始まり</b>	沈没したトルコ船の船員を懸命に助けた村人たちの姿と、トルコとの交流を大事に続ける人々の思いなどを通して、他国の人々と支え合いながら生きるのに大切なことを考えさせ、他国の人々とのつながりを大切にしようとする心情を育てる。	▼人々と助け合って生きていくためには、どんな考え方や行動を取ることが大切なのかについて、「エルトゥールル号——友好の始まり」と「私には夢がある」を通して考えることを確認する。 ★他国の人々と支え合いながら生きていくためには、どんなことが大切なのだろう。 ①日本人と外国の人々が助け合ったことについて、知っていることはあるかを確認する。 ②「エルトゥールル号——友好の始まり」を読み、村人たちはなぜ自分たちの大切な食料を差し出してまで、乗組員たちを助けたのかを考え、発表する。 ③「二つの国のきずな」とは、どのようなきずなを考え、話し合う。 ④広末は海を見ながらどんなことを考えていたかを想像し、発表する。 ▼「私には夢がある」を学んだ後、教科書 P164・165 のコラム「世界の人々と助け合って」を読み、他の国や地域の人々と助け合いながら生きていくことについて、さらに考えを深める。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○他国の人々と支え合いながら生き、他国の人々とのつながりを大切にしようとするについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 他国や、他国の人々との関わりについて、自分のこれまでの考えを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 助けた国と助けられた国の両方の立場から、国際親善の意義について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 他国の人々とよりよい関係を築くためには何が大切なのか、また、自分にも何かできることはないかと考えている。	社会科 総合的な学習の時間 共生 国際理解教育	
	適宜	★学びの準備★ 差別の問題に目を向けよう C (13) 公正、公平、社会正義 次の「私には夢がある」の学習の準備として、これまでに経験したこと、見聞きしたこと、学習したことなどを思い出し、「差別ではないか。」と感じたことをノートに書き出して置く。					
	12月 (3)	【差別のない社会を求めて】 C (13) 公正、公平、社会正義  <b>27 私には夢がある</b>	非暴力で人種差別反対を訴え続けた人々の姿などを通して、マーティンが目指す世界を実現するにはどんな考えが大切かを考えさせ、差別や偏見を許さず、正義の実現に努めようとする判断力を育てる。	★マーティンが目ざす世界を実現するためには、どんな考えが大切なのだろう。 ①「差別ではないか。」と感じたことを出し合う。 ②「私には夢がある」を読み、「マーティンの夢」とはどんなものかを考え、発表する。 ③アフリカ系アメリカ人の人々は、どんな思いで運動を続けたのかを考え、発表する。 ④「マーティンの夢」を実現するために、現代を生きる自分たちはどのような考えや行動をしていけばよいかを話し合う。 ▼キング牧師の生涯について書かれた本を読む。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○差別や偏見を許さず、正義の実現に努めようとするこの大切さについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 差別や偏見に対して、自分はどのような行動を取っているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 教科書の文章や友達のををもとに、社会的な差別や偏見について、自分の考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 いじめのないクラスや差別のない社会を実現するために、自分には何ができるかを考えている。	社会科 図書館活用 共生 社会参画に関する教育 法教育	
	適宜	★コラム★ 〈共に生きる〉 世界の人々と助け合って C (13) 公正、公平、社会正義/C (18) 国際理解、国際親善					総合的な学習の時間 図書館活用 共生 国際理解教育
○「学習のまとめ」を振り返った評価(9～12月)  ここまで学んだ、【C (12) 規則の尊重】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【A (2) 正直、誠実】【B (11) 相互理解、寛容】【B (10) 友情、信頼】【C (16) よりよい学校生活、集団生活の充実】【C (12) 規則の尊重】【B (9) 礼儀】【B (8) 感謝】【B (7) 親切、思いやり】【D (21) 感動、畏敬の念】【D (19) 生命の尊さ】【A (5) 希望と勇気、努力と強い意志】【C (18) 国際理解、国際親善】【C (13) 公正、公平、社会正義】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」にある児童の書き込みや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。							

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
自分の生き方を見つめるって?	1月 (2)	【真実を求めて】 A (6) 真理の探究  <b>28 サバクトビバッタを 追いかけて 〈昆虫学者・ 前野浩太郎〉</b>	サバクトビバッタについての常識や定説を疑い、疑問をもって研究を続ける前野浩太郎さんの姿などを通して、真理を探究しようとする心について考えさせ、本質を見極めようとする心情を育てる。	★真理を探究しようとする心とは、どんなものだろう。 ①何かを知りたくてたまらないと思ったことはあるか、振り返る。 ②「サバクトビバッタを追いかけて(昆虫学者・前野浩太郎)」を読み、前野さんの探究する姿で、おもしろいな、すごいなと思ったのはどんなところかを考え、発表する。 ③前野さんの探究する姿は、どんな思いに支えられているのかを考え、話し合う。 ▼真理を探究した人の本を読む。 ④巻末「学びの記録」に記入する。	○本質を見極めようとする思いについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 何かを知りたいという思いにどのように向き合っているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 筆者の姿や友達の考えをもとに、物事を探究しようとする心の在り方について、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 疑問に思ったことやわからないことをそのままにしておくことなく、探究することによって新しいものを生み出していこうと考えている。	理科 図書館活用 キャリア教育
	1月 (3)	【自由とは】 A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任  <b>29 「自由」って、 何だろう</b>	「自由」について多様な考えを出し合い、「自由」とは何かを考える活動などを通して、「自由」についての考えを深め、友達と考えた「自由」の本質を、これからの自分の生き方に生かそうとする心情を育てる。	★「自由」について、考えを深めよう。 ①教科書P172の手順に沿って、「自由」とは何かをグループで考える。 ②「自由」について、みんなで考えてよかったことや、新しく発見したことを発表する。 ③巻末「学びの記録」に記入する。	○対話を通じて「自由」の本質について考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 「自由」とはどのようなものか、これまでの自分の経験を振り返りながら考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 「自由」についてのさまざまな考え方を聞く中で、「自由」とはどのようなものか、自分の考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 「自由」の本質を捉えたいうえで、それを今後の学習や実生活にどのように生かしていこうかと、考えを深めている。	国語科 共生
	1月 (4)	【伝統や文化を守るために】 C (17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度  <b>30 曲げわっぱから 伝わるもの</b>	「曲げわっぱ」を守り、発展させている人々の思いを知った雪菜の姿などを通して、伝統や文化を守っていくために必要なことを考えさせ、先人の業績や優れた技に誇りをもち、大切にしようとする心情を育てる。	★伝統や文化を守っていくためには、何が必要なのだろう。 ①知っている伝統工芸品を思い起こし、出し合う。 ②「曲げわっぱから伝わるもの」を読み、お母さんの言葉にしぶしぶうなずいた雪菜はどんなことを考えていたかを想像し、出し合う。 ③職人たちは、どんな思いで「曲げわっぱの伝統をとどえさせてしまうわけにはいかない。」と考えているのかを想像し、話し合う。 ④雪菜は、なぜ「おじいちゃんから聞いた話を友達にしてあげよう。」と思ったのかを考え、発表する。 ▼日本のよさはどんなものか、また、そのよさをどうやってよりよいものにしていきたいか考える。 ▼教科書P206の「日本の『伝統工芸』」を見る。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○先人の業績や優れた技に誇りをもち、大切にしようということについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 伝統や文化について、自分がどのような意識をもつことができたかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 伝統や文化を受け継ぎ、次の世代へとつないでいくことのすばらしさと大変さの両面から、それを守るために必要なことについて考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 伝統を守っていくことの難しさを踏まえ、伝統の発展のために自分には何ができるかを考えている。	社会科 図書館活用 伝統文化教育
	2月 (1)	【家族に対する思い】 C (15) 家族愛、家庭生活の充実  <b>31 ぼくの名前呼んで</b>	聴覚障害者の両親に不満をぶつける太郎と、誇り高く生きるよう伝える父親の姿などを通して、この家族が教えてくれることを考えさせ、父母を敬愛し、家族の幸せに貢献しようとする実践意欲を育てる。	★「ぼくの名前呼んで」にえがかれている家族は、あなたに何を教えてくれるだろう。 ①「ぼくの名前呼んで」を読み、太郎はどんな思いで「ぼくの名前呼んで。」と言ったのかを考え、発表する。 ②父の手話から両親の思いを知った太郎は、どんなことを思ったかを考え、話し合う。 ③「ぼくの名前呼んで」を読んで、家族についてどんなことを考えたかを話し合う。 ▼本時で家族について考えたことを基に、家族の一員として自分にはどんなことができるかを考える。 ④巻末「学びの記録」に記入する。	○父母を敬愛し、家族の幸せに貢献しようということについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分は普段、家族に対してどのような思いをもっているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 それぞれの登場人物の姿や友達の考えをもとに、家族の一人一人が、家族に対してそれぞれ多様な思いをもっていることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 家族との信頼関係を築き、家族の幸せに貢献するために、自分はどんなことをしていこうかと考えている。	共生 福祉に関する教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
自分の生き方を見つめるって?	2月 (2)	【かけがえのない命】 D (19) 生命の尊さ  <b>3 2 恋ちゃん—— はじめての「みとり」</b>	大好きだったおばあちゃんを みとる恋ちゃんの姿などを通して、 命のすばらしさとはどのようなことか を考えさせ、限りある生命のかけがえ のなさを自覚し、生命を尊重しようとする 心情を育てる。	★命のすばらしさとは、どのようなこと だろう。 ①「みとり」という言葉を聞いたこと があるか、振り返る。 ②「恋ちゃん——はじめての『みとり』」 を読み、初めての「みとり」を 経験して、恋ちゃんはどんなことを 感じたかを考え、出し合う。 ③この話を読み、命についてどんな ことを考えたかを話し合う。 ▼「12 命の旅」や「24 命のかがやき」 と、本時で学んだことをつなげて 考える。 ④巻末「学びの記録」に記入する。	○限りある生命のかけがえのなさを 自覚し、生命を尊重しようとする 思いについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見 つめる】 死について、自分はどんな意識を もっているかと、自分を見つめて いる。 【道徳的価値の理解を基に多面的・ 多角的に考える】 命の有限性や命のつながりなど、 さまざまな面から命のかけがえの なさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の 生き方についての考えを深める】 生命のかけがえのなさについて理 解を深めたいうえで、自分や他 者の命にどのように向き合おうか と考えている。	図書館活用 共生
	2月 (3)	【働く意義】 C (14) 勤労、公共の精神  <b>3 3 「働く」って、 どういうこと?</b>	三つの資料などを通して、働く とはどのようなことかを考えさせ、 働くことの意義を理解し、自己 実現を図るとともに、公共のため に役に立つことをしようとする 実践意欲を育てる。	★働くとは、どのようなことか、 考えてみよう。 ①将来、就きたい職業を出し合う。 ②P189の「資料1」を見て、ど のようなことを考えたかを発表 する。 ③P190・191の「資料2」の 島田さん、P192・193の「資 料3」の與猶さんは、仕事をし ていくうえで、それぞれどんな ことを大切にしているかを考え、 発表する。 ④人は何のために働くのかを、「 考えるヒント」(図を使って考 えよう)を参考にして考え、み んなで話し合う。 ▼教科書P194の「考えるヒント」 (図を使って考えよう)、教科書 P204の「学びの工具箱」(ピ ラミッドチャート)を適宜、活 用する。 ▼身近な人に、その仕事を選ん だ理由ややりがいについて尋 ねる。 ⑤巻末「学びの記録」に記入 する。	○働くことの意義を理解し、公 共のために役に立つことについて 考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己 を見つめる】 働くということに対して、自分 はどんな考えをもっているか、 自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多 面的・多角的に考える】 働くことを巡って、人にはさま ざまな思いがあることを知り、 自分の考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己 の生き方についての考えを深 める】 将来、自分は職業を選ぶときに 何を大切にしたらよいか、また、 どんなことにやりがいを感じる かを想像している。	社会科 キャリア教育
	3月 (1)	【支えてくれた人々に】 B (8) 感謝  <b>3 4 「ありがとう」の 気持ちを伝える</b>	父親に対する感謝の作文など を通して、自分の内面にある感 謝の気持ちを見つめさせ、多く の人の支えや助け合いで成り立 っている日々の生活に感謝し、 それに応えようとする実践意 欲を育てる。	★自分の中にある感謝の気持 ちを見つめよう。 ①今日は、誰に、どんなこと で「ありがとう。」と言ったか を振り返り、出し合う。 ②「『ありがとう』の気持ちを 伝える」を読み、「ぼく」は何 に対して「ありがとう」の気持 ちをもったのかを考え、発表 する。 ③誰に、どんな感謝の気持ち を伝えたいか、P197の「例」 のようにマップを使って、自 分の気持ちを見つめる。 ④感謝の気持ちを見つめて みて、どんなことを感じたか を発表する。 ⑤巻末「学びの記録」に記 入する。	○多くの人の支えや助け合い で成り立っている日々の生活に 感謝し、それに応えようとする ことについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己 を見つめる】 感謝の気持ちを周囲の人に 伝えていくかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多 面的・多角的に考える】 児童作文や友達の考えをもと に、自分が感謝すべき対象は たくさんあることについて考 えている。 【道徳的価値の理解を基に自 己の生き方についての考えを 深める】 これから生きていくうえで、 自分を支えてくれている人た ちの気持ちに、どう応えてい きたいかを考えている。	特別活動(学級活動)

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり	
自分の生き方を見つめるって?	3月 (2)	【よりよく生きるために】 D (22) よりよく生きる喜び  35 一さいから百さいの夢	それぞれの年齢の人が語る「夢」などを通して、夢が私たちに与えてくれるものについて考えさせ、よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、夢や希望をもち自分らしく生きようとする心情を育てる。	★夢が私たちにあたえてくれるものは、何だろう。 ①卒業に向けて、「夢」について考えることを確認する。 ②「一さいから百さいの夢」を読み、いちばん心に残ったところを、理由と一しよに発表する。 ③夢をもつことは、人に何を与えてくれるのかを考え、話し合う。 ④巻末「学びの記録」に記入する。	○よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、夢や希望をもち自分らしく生きようとする大切さについて考えている。  【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 夢や希望をもって生活しているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 一人一人が、それぞれ誇りある生き方、夢や希望など喜びのある生き方をしていることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の夢は何か、夢のためにどんなことをしていきたいか、もしくは、たとえ今ははっきりしなくても、どんな夢もちたいか、考えている。	国語科 特別活動(学級活動) キャリア教育	
	○「学習のまとめ」を振り返った評価(1~3月)						
	<p>ここまで学んだ、【A(6) 真理の探究】【A(1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【C(17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】【C(15) 家族愛、家庭生活の充実】【D(19) 生命の尊さ】【C(14) 勤労、公共の精神】【B(8) 感謝】【D(22) よりよく生きる喜び】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。</p> <p>「学びの記録」にある児童の書き込みや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。</p>						
○「後期」を振り返った評価(10月3週目~3月)							
<p>ここまで学んだ、【C(12) 規則の尊重】【B(9) 礼儀】【B(8) 感謝】【B(7) 親切、思いやり】【D(21) 感動、畏敬の念】【D(19) 生命の尊さ】【A(5) 希望と勇気、努力と強い意志】【C(18) 国際理解、国際親善】【C(13) 公正、公平、社会正義】【A(6) 真理の探究】【A(1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【C(17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】【C(15) 家族愛、家庭生活の充実】【D(19) 生命の尊さ】【C(14) 勤労、公共の精神】【B(8) 感謝】【D(22) よりよく生きる喜び】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。</p> <p>「学びの記録」にある児童の書き込みや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。</p>							